

このとり通信

～兵庫県助産師会だより～

一般社団法人 兵庫県助産師会
第6号(18) 平成27年8月31日発行

(発行部数 500部)

発行責任者 岸本 喜代子
編集責任者 谷川 裕子

神戸市中央区花隈町9-25
グラン・ピア下山手通 003

TEL : 078-362-1310

FAX : 078-362-2737

<http://hyogo-josanshikai.com/>

ごあいさつ

一般社団法人 兵庫県助産師会

会長 岸本 喜代子

初夏は、涼しく夏の気配がなかったというのに、一転夏の暑さが続いています。皆様はお変わりございませんでしょうか？

5月の総会が終わり、早や3か月になります。総会では、お忙しい中ご参加くださり、ありがとうございます。また、出席できない方におかれましては委任状も提出してくださり、ありがとうございます。総会において議案審議できなかったものは、会員の皆様のご協力をいただきながら、この1年、取り組んでまいります。また、通らなかったものに関しましては、課題をいただいたとあって、今後真摯に取り組んでまいります。その一つとして、法人法に基づいて定款等の見直しを行い、その説明会を5回にわたって行いました。それぞれの地域で、いただいたご意見をもとに、助産師会がより成熟・発展できるよう考えてまいります。9月26日に臨時総会を行い、総意を聞きたいと思っておりますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、10月23日(金)、24日(土)には、6年ぶりに(公社)日本助産師会近畿地区研修会が、兵庫県で開催されます。「参加してよかった」と言っていたような充実した内容と、精一杯のおもてなしをしたいと思えます。そのためには、皆様のご協力なしではできません。一人でも多くの方がご協力、ご参加くださいますようお願いいたします。

会長に就任し、皆様のご協力のもと、ここまできました。皆様の様々なご意見をいただき、その一つ一つを受け止め、実行・変革・会の発展に努めてまいりました。時間が必要なこともありますが、じっくり取り組んでまいります。

今後も、皆様のご協力・ご参加を重ねてお願い申し上げます。



平成27年度 兵庫県助産師会 臨時総会

日程：平成27年9月26日(土)

13時30分～

会場：兵庫県学校厚生会館



部会だより

〈助産所部会〉

部会長 稲生 佐枝子

兵庫県内の助産所は現在 17 か所（うち 1 か所は分娩休止中）です。残念なことに去年から 2 か所減りました。また、助産所での出生数は少子化・高齢出産の増加により減少傾向です。一方、産後ケアの需要は高まっており、神戸市では利用者が条件付きで産後ケアの助成を受けることができるようになりました。この取り組みは小野市でも始まり、今後さらに県下の各自治体にも広がるように協力していきたいと思ひます。

助産師には、妊娠から出産を経て子育てをトータルで支援する助産師独自の職能があります。助産所部会には、長年地域でそのような職能を発揮してこられた大ベテランの先生方がおられます。隔月の助産所部会では、先生方の貴重な経験談や技を教えていただくこともあります。技を受け継ぎながら、新しい時代に合わせた助産所ならではの役割を担っていききたいと思ひます。

〈保健指導部会〉

部会長 藤尾 さおり

今年度、保健指導部会会長を務めさせていただくことになりました藤尾さおりです。諸先輩方のご指導を賜りながら伝統を引き継ぎ、時代のニーズに沿った新しい風も送り込みながら、保健指導部会が益々活性化していくよう、努めたいと思ひます。

今年度は、「会員相互の連携を図る」ことを目標としました。活動内容は ①年 4 回の定例会および部会研修会の開催 ②研修会等への参画（企画・立案、および講師・スタッフの派遣）③子育て・女性健康支援センターへの協働参画 ④産後ケア事業の推進 の 4 項目です。6 月の部会集会では、今年度の活動について具体的な話し合いをし、7 月は伝達講習を行いました。12 月には親睦会を予定しております。

今後も、他の部会や委員会とも連携をとりながら進めてまいりたいと思ひます。皆様方のご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

〈勤務助産師部会〉

部会長 浦島 裕美子

平成 27 年度勤務助産師部会では、7 名の新役員を中心として奇数月の第 2 土曜日を定例会議日に決め、年間活動計画を立てました。6 月の定例会では、今年度の勤務助産師部会のあり方について話し合いました。

勤務助産師部会の目標として、昨年度同様①組織の強化にあたり会員増員②助産師として質の向上に努めることに取り組むたいと考えています。具体的には、「院内助産」「新生児」「母乳育児」をキーワードに、各施設を訪問する形の勤務助産師ならではの学習会を計画しています。また、一財）日本助産評価機構の助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢを、一人でも多くの会員に取得していただけるよう取り組むたいと思ひます。勤務している助産師が、より元気になる研修を多く企画したいとも考えています。

兵庫県助産師会の三部門の中で最も会員数の多い部会です。会員の皆様は母子との関わりの中、益々勤務先で輝いていけるようお手伝いしたいと思ひます。



公益社団法人日本助産師会近畿地区研修会

近畿地区研修会 企画委員長 藤井 ひろみ

公社)日本助産師会近畿地区研修会を平成 27 年 10 月 23 日(金)・24 日(土)の両日、兵庫県助産師会主催で開催することとなりました。近畿地区研修会は、近畿地区の助産師会会員が、一堂に集まる研修会として、毎年行われているものです。兵庫県では、本会が法人化されてから初めての開催となります。テーマは「いのちと性をまもる」です。日本助産師会会長 岡本喜代子先生の講演を皮切りに、「災害といのち」「助産とコミュニケーション」「性暴力への挑戦」などの講演・シンポジウムを予定しております。また、23 日(金)午前のプレコングレスでは、「予防接種最新情報」「新生児蘇生フォローアップ」や「産後ケア事業の今後の展開について」など、実践に即役立つ内容を企画しています。

兵庫県会員の学びの場としてはもとより、他府県から来られる助産師諸姉に心温まる交流と有意義な研鑽の場を提供できるよう、盛り上げていきましょう。また、研修の一部は兵庫県からの助成を得ています。是非ご参加ください。



事業報告

教育委員会

教育委員長 谷口 真紀

今年度も「助産師のちからアップ」研修を開催します。助産実践に活かせる内容と経験豊富な講師陣をお呼びして、自立した助産師活動を後押しできるよう計画しました。

今年度は、全コースに 8 名の方が自身のスキルアップなど目標高く参加されております。6 月 7 日の研修後に、全コース生 8 名と理事、教育委員、そして研修講師の竹内先生に参加していただき、無事に開講式を終了しました。これから約半年を通して、興味深い研修を計画しておりますので、多くの方の参加をお待ちしています。今年度は、一人でも多くの会員の方に参加していただきたいと思い、初めての試みとして研修参加の「補助券」を発行しました。ぜひこの機会に、研修に参加してください。

教育委員会では、研修毎に「研修サポーター」を募集しております。「研修企画に興味がある」「教育委員会がどのように活動しているのか知りたい」など、どのような動機でもかまいません。一緒に研修を運営してみませんか。教育委員会では、会員の皆さんの要望にお応えした、研修内容にしていきたいと思っています。研修についてのアイデアやご意見等もお聞かせください。お問い合わせは、事務局 教育委員会までお願いします。



定款説明会 in 但馬



「いがきマタニティサービス」の玄関フロア

7月12日(日)

「定款改定に向けた説明会&情報交換会」
岸本会長・小河原理事が担当しました。
但馬ブロック会員7名中3名と、
非会員1名のご参加をいただきました。



理事会からのお知らせ

今年度の文化祭は、10月23日(金)の近畿地区研修会の懇親会とさせていただきます。
是非、懇親会もご参加ください。

当会のキャッチコピーと
ロゴを募集中！
どしどし事務局へ
応募してください。

継続申請書に
メールアドレスの記入を
是非お願いします。
タイムリーな情報発信に
ご協力ください！

兵庫県助産師会 事務局

TEL: 078-362-1310(月～金)10:00～16:00

FAX: 078-362-2737 (24時間送信可)

Email: info@hyogo-josanshikai.com

会員総数 335人 (平成27年8月15日現在)

新規会員募集中!! (まだ入会されていない方に入会をお勧めください)

訃報

自然なお産研究所所長 進純郎先生が平成27年6月13日にご逝去されました(享年68歳)。
進先生には、2007年より助産師のちからアップ研修会の講師などにて、多大なご尽力を賜りました。先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

編集後記

まだまだ暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。会長、各部会長はじめ多くの方々のご協力を得て、平成27年度初めてのこのとり通信を発行し、会員の皆様にお届けできましたことを嬉しく思います。今後も活発な活動を皆様にお伝えしていきたいと思っております。

広報委員